

令和6年度  
近畿地方環境パートナーシップオフィス運営等業務  
業務実施報告書

資料編

令和7年3月25日  
特定非営利活動法人 近畿環境市民活動相互支援センター

## 目次

1	相談対応・対話の場作り等【本編章番号 3-(3)②】	1
(1)	政策コミュニケーション①	
	こどもの未来と地球温暖化問題を語り合うカフェ	1
(2)	政策コミュニケーション②	
	プラスチックごみ対策に取り組む地方自治体職員情報交換会	2
2	地域からのグリーン社会の実現に向けたステークホルダー連携促進業務	
	【本編章番号 3-(3)③】	3
(1)	ローカルSDGsユースネットワーク拡大作戦	3
(2)	プラスチック新時代に向けた準備と事業活動への影響	4
(3)	琵琶湖から生まれ、未来につながるライフスタイル	5
(4)	KSP分科会第5回イベント	
	「持続可能な地域づくり×協働を学ぶ」	7
(5)	KSP分科会第6回イベント	
	「歩いて行ける多機能拠点「地域の集いの場」から創る未来の暮らし」	9
3	地域循環共生圏構築に向けた身近な自然資本の活用に関する意見交換会の開催	
	【本編章番号3-(4)②】	19
(1)	第1回「自然共生サイトを活用したネイチャーポジティブの取組」	19
(2)	第2回「自然共生サイトを活用したネイチャーポジティブの取組」	20
4	「2030学びあいプロジェクト」の企画等【本編章番号 4-(6)①】	21
5	ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【本編章番号 4-(7)①】	32
6	Webサイト等を活用した情報の受発信【本編章番号 3-(3)①】	
	近畿ESDセンターに係るパンフレット等発信情報の作成・配布【本編章番号4-(5)】	34

- 1 相談対応・対話の場作り等【本編章番号 3-(3)②】  
 (1) 政策コミュニケーション①  
 こどもの未来と地球温暖化問題を語り合うカフェ  
 (チラシ)

### 子どもたちが安心して暮らせる未来へ

30年前や40年前と比べると、夏はより暑くなって熱中症になる人が増えたり、冬は雪がなくなりスキーが楽しめなかったり、地球温暖化(気候変動)による影響を肌身に感じるようになってきました。この地球温暖化は現在も進行形で、このまいくと、20年後や30年後には、その影響は、より深刻になると予測されています。では、どうすれば、子どもたちに安心して暮らせる未来を用意してあげられるでしょうか。まだ、私たちにもできることがあります。

気軽に喝茶をしたり、レゴを使ったワークショップで楽しみながら、一緒にお話をしてみませんか？



スピーカー

**藤井 紗菜さん**  
 環境省 近畿地方環境事務所  
 再エネ促進区域推進専門官

環境コンサルティング会社、保険会社を経て、2021年より現職。主に自治体や中小企業からの太陽光発電など再生可能エネルギーの促進や脱炭素に向けた取組の相談に応じている。2児の母。



ファシリテーター

**越 希美江さん**  
 株式会社 BEYOND WORDS 代表取締役

市役所・公立病院にてまちづくりに従事した後、一人ひとりの可能性が花開く持続可能な組織づくりを目指す人事コンサルタントとして独立。LEGO® SERIOUS PLAY® メソッドと教材活用トレーニング修了認定ファシリテーター。

### プログラム

- 9:45 受付開始
  - 10:00 ミニ講義 気候変動って？  
ドリンクを飲みながら現状をみんなで知ろう！
  - 10:45 ワークショップ(ブロックを使った対話のワーク)
  - 12:00 終了(希望者は残ってランチ交流会)
- ※ランチ交流会へのご参加は別途ランチ代を頂戴します。

#### ブロックを使った対話のワークって？

レゴ®シリアスプレイ®という、レゴブロックを使った対話のワークショップです。レゴブロックを使って、立体的な作品を作りながら、対話を深めます。

### お申込み/お問合せ

申し込みは、右記のQRコードからお願います。  
 【先着10名程度】  
 ◎お問合せ (NPO 法人 a little)  
 TEL : 0798-42-8601



### 会場 MAP



(2) 政策コミュニケーション②  
プラスチックごみ対策に取り組む地方自治体職員情報交換会  
(チラシ)

# プラスチックごみ対策に取り組む 地方自治体職員 情報交換会

使い捨てプラを  
もたら減らそう

～地域住民・事業者と協働ですすめるプラ削減事業～

## 11月20日(水) 14時～16時半

会場：**ドーンセンター 4階 大会議室 3**

大阪府立男女共同参画・青少年センター  
〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目3番49号  
大阪メトロ・京阪電車 天満橋駅 1番出口から徒歩5分

対象：近畿地方の自治体職員

参加費：無料

定員：40人 締切：11月13日(水) (定員になり次第締め切ります)

ご案内：

プラスチックごみ対策では、ポイ捨ての禁止啓発、地域清掃、マイバック・マイボトル持参の呼びかけなど、熱心に取り組んでいる自治体が多い一方、発生抑制に向けた実効性のある取組はないか、地域住民や事業者との協働をどのように築けばよいかなど、課題を感じている近畿の自治体職員も多いと思います。自治体職員が日々感じている課題を、同じ立場で出し合い、情報交換・共有できる機会として、どうぞご参加ください。

近畿圏内の自治体によるプラスチックごみ削減の先行的な事例紹介もあります。  
また、「当市(町村)の取組を紹介したい」とのお申し出も歓迎です。

内容(予定)：

- 14:00：開催趣旨の紹介
- 14:10：近畿圏内のプラスチックごみ削減の先行事例紹介と質疑応答  
(滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会の統一ステッカー、自治体主催イベントでのリユース食器導入支援事業等、3事例程度)
- 15:20：テーブルに分かれ、参加者による情報交換(自治体アンケートの結果からテーマを設定)
- 16:10：全体共有
- 16:30：終了

主催：きんき環境館(近畿地方環境パートナーシップオフィス)  
環境省 近畿地方環境事務所 環境対策課

お問合せ、お申し込み先

きんき環境館 担当 堀 岡見 office@kankyokan.jp  
〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 OMM 5F  
TEL 06-6940-2001 FAX 06-6940-2022 <https://www.kankyokan.jp/>

こちらからも  
お申し込み  
できます。



メールでのお申し込みは、同送の参加申込票に必要事項をご記載のうえ上記までご送付ください。

- 2 地域からのグリーン社会の実現に向けたステークホルダー連携促進業務  
 【本編章番号 3-(3)③】  
 (1) ローカルSDGsユースネットワーク拡大作戦  
 (チラシ)

## ローカルSDGs ユースネットワーク拡大作戦

### ～地域でSDGsに取り組む学生のための仲間づくり企画～

「ローカルSDGs（地域循環共生圏）」とは、地域の多様な資源を最大限に活用しながら、環境・経済・社会の統合的向上を目指す取組みの事です。

このイベントは地域のために持続可能な取組を実践したい・深めたい・お手伝いしたい人達同士のネットワーキングの場です。地域の主体の一員である皆さんが、地域内外の方々とパートナーシップを構築し、地域・社会課題解決に向けた協働のきっかけを作ります。地域をもっとよくする一歩を踏み出してみませんか。

**日 時：**2024年9月17日（火）14時～17時  
**会 場：**クロスバル高槻 視聴覚室（対面開催）  
 （大阪府高槻市紺屋町1-2 JR高槻駅南口より徒歩2分）

**参加費：**無料    **定員：**70名（先着順）  
**対 象：**ローカルSDGsの取組みに興味のある・すでに取り組んでいるユースの方  
 ローカルSDGsに取り組むユースの活動を支援したい方（企業、自治体、個人など）

**プログラム** ※事例紹介パートのみ後日録画配信を行います

14:00～ ユース活動の支援事例紹介  
 事例紹介団体：奈良市総合政策課、OSINTech、  
 一般社団法人インパクトラボ、次世代ユネスコ国内委員会

14:45～ ユース活動団体による事例紹介  
 事例紹介団体：奈良教育大学ユネスコクラブ、エコ〜るど京大、  
 滋賀県立大学 近江楽座「政所茶レン茶〜」 など

15:55～ 参加者交流タイム  
 登壇者がブース出展しますので、ご参加者の方々は自由に各ブースを回って交流してください。（ご自身の活動紹介チラシなどがある場合はぜひご持参のうえ、交流してください）

**登壇者一例**  
 滋賀県立大学 近江楽座  
 「政所茶レン茶〜」



滋賀県立大学近江楽座の一環として、ローカルSDGsを実践するチームです。東近江市政所町で生産される政所茶の生産・PR・販売を行っています。鈴鹿山脈の山間部で、手作業による畑の管理と手摘み収穫を通じて、持続可能な農業を推進しています。

↓お申込みはこちらから  
 (申込み締切：9/13(金))



**主催：**きんき環境館  
**協力：**次世代ユネスコ国内委員会、  
 奈良教育大学ユネスコクラブ、  
 OSINTech

**お問い合わせ**  
 きんき環境館（担当:小路）  
 Mail:office@kankyokan.jp  
 Tel：06-6941-2001

(2) プラスチック新時代に向けた準備と事業活動への影響  
(チラシ)

# プラスチック新時代に向けた 準備と事業活動への影響

～プラスチック使用製品設計指針と  
設計認定制度、国際プラスチック条約～

海洋プラスチック問題の深刻化を受け、プラスチック使用に対する国内外の動向について学び、これからのビジネスについて考えます。  
国際プラスチック条約\*の合意内容見込み(2024年12月頃)や国内の法令等への影響(プラスチック使用製品設計指針と認定制度など)についての報告後、EUのサーキュラー・エコノミーパッケージなど世界の動向を、このような変化をビジネスチャンスとして捉え、先駆的に動く企業の動きとあわせて有識者より伝えてまいります。後半は講師報告への質疑と、参加者ワークの場をご用意しております。  
\* 海洋環境等におけるプラスチック汚染に関する法的拘束力のある国際文書(条約)

参加無料

定員

50名

## イベント概要

### ● 講演 I

国際プラスチック条約の合意内容や  
国内の法令等への影響

(公益財団法人廃棄物・3R研究財団資源循環調査センター  
上席研究員 大塚直樹氏)

### ● 講演 II

サーキュラーエコノミーの実現に  
向けた世界の動向やビジネスチャンス

(同志社大学経済学部准教授 原田禎夫氏)

### ● 質疑応答

### ● 参加者ワーク

学習会で得た情報をどのように社内にフィードバックし、活かしていくか、参加者間で交流します。

日時

2024/10/11(金)  
14:00~16:30

会場

大阪産業創造館 5F 研修室 E  
(大阪市中央区本町1丁目4-5)

大阪メトロ堺筋線 堺筋本町駅 12番出口  
または中央線 堺筋本町駅 1番出口から徒歩5分

対象

事業者(製造業、流通サービス、静脈産業等、業種は問いません)

主催

きんき環境館(近畿地方環境パートナーシップオフィス)  
環境省 近畿地方環境事務所

申込

申込締切 10/8(火)

下記 URL または右記 QR の申込フォームからお申し込みください。  
<https://forms.gle/2X23JWyscQFSGc8r5>



お問合せ

きんき環境館(担当:堀)

E-mail: [office@kankyokan.jp](mailto:office@kankyokan.jp) TEL:06-6940-2001

(3) 琵琶湖から生まれ、未来につながるライフスタイル  
(チラシ)

# 琵琶湖から生まれ、 未来へとつなぐライフスタイル

## 11月4日(月・祝) 13時半～16時半

会場：キラリエ草津（草津市立市民総合交流センター）303会議室  
JR草津駅東口から徒歩5分 〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目1番35号

対象：どなたでも 地域で住民活動に取り組んでいる人におすすめ

定員：30名（10月30日締切。ただし定員に達した時点で締め切ります）

参加費：無料

琵琶湖・淀川流域圏で活動する、ごみの発生抑制など環境に配慮したライフスタイルの普及に取り組む市民団体が集い、課題共有や意見交換を行う場を設けました。府県境を超え、同じような課題を抱える団体が、同じ立場で、課題克服の方策や連携について話し合います。

どんな団体がどのような活動をしているか、参加したい活動団体を求めている人はもちろん、話し合いに参加したい人も歓迎です。どうぞご参加ください。

**参加・発表予定団体**（裏面に各団体の簡単な紹介を掲載しています）

佐藤祐一氏

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター専門研究員

辻博子氏

しがローカルSDGs研究会事務局長

金子利佳氏

ピワコゼロウェイスト共同代表

南村多津恵氏

くうのるくらすの創造舎代表

柳澤知伽氏

Linkしが代表

原田禎夫氏

NPO法人プロジェクト保津川代表理事

下村委津子氏

NPO法人環境市民副代表理事

庄田佳保里氏

NPO法人いけだエコスタッフ理事長

水川晶子氏

アジェンダ21すいた幹事 資源部会代表

**主催**：しがローカルSDGs研究会、きんき環境館、環境省 近畿地方環境事務所

**お問合せ、お申し込み先**

きんき環境館 担当 堀 岡見 office@kankyokan.jp

〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 OMM 5F

郵送の場合：「OMM ビル内郵便局私書箱111号」

TEL 06-6940-2001 FAX 06-6940-2022 <https://www.kankyokan.jp/>

こちらからも  
お申し込みできます



FAX、郵送でのお申し込みは、下の欄に必要事項をご記載のうえ上記までご送付ください。

お名前	活動されているグループ(あれば)		
ご連絡先	電話番号	-	-
	E-mail	@	
			記載いただいた個人情報は、このイベントの連絡にのみ用います。

# 琵琶湖から生まれ、 未来へとつなぐライフスタイル ご案内 裏面

## タイムスケジュール (変更の場合あり)

- 13:30 開始 開催趣旨説明
- 13:40 事例紹介1～4 (発表順は今後決定)
- 14:20 1～4の事例紹介を受け、  
共通課題Aの議論
- 14:50 休憩
- 15:00 事例紹介5～8
- 15:40 5～8の事例紹介を受け、  
共通課題Bの議論
- 16:10 全体のふりかえり
- 16:25 連絡事項等
- 16:30 終了

## 会場付近図



## 当日の参加・発表者

佐藤祐一氏 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 専門研究員	流域における水や物質の動態の研究をする傍ら、住民参画での地域の環境保全の推進を実践的に取り組んでいる。琵琶湖・淀川水系のプラスチックごみの量や実態についても研究。MLGsの案内人代表も務めている。
辻 博子氏 しがローカルSDGs研究会 (SL2) 事務局長	SL2では、地域資源を活かした循環型の地域づくりに向けて、学習会等を開催する他、小学生のプラごみ研究会「Rキッズ」の運営、地域共通リユース容器「リパコ」の仕組みづくり等に取り組んでいる。辻氏はSL2設立メンバーで設立時より事務局を務めている。
金子利佳氏 ピワコゼロウェイスト 共同代表	片づけの仕事の現場で捨てられるモノの多さに問題意識を持ち、徳島県上勝町を訪問後、SDGsワークショップを体験した4人とグループを結成。主婦目線のライフスタイルの変化を提案する活動を開始。滋賀版くるくるショップを模索中。
南村多津恵氏 くるるのくらすの創造会 代表	環境カウンセラー、会議ファシリテーター、市民活動&環境学習コーディネーター。都市でどこまでサステナブルな暮らしができるかを実験的に楽しみ発信している。気候危機の視点から最近では主に自転車と公共交通を活かしたまちづくり活動に参加し、エコ通勤の普及に努める。
柳澤知伽氏 Linkしが 代表	2011年より「滋賀から整理収納で人と地球の幸せを」をビジョンに掲げ、衣類や着物の交換会、小学校出前授業などを行う。誰でも取り組める整理収納でライフスタイルの見直しや3Rを促進し、環境にやさしい暮らし方を提案している。
原田禎夫氏 NPO法人プロジェクト保津川 代表理事	亀岡市は「レジ袋禁止」で注目されたが、その実施を支えたグループの一つ。「マイクロ・プラスチックストーリー日本版」の吹き替え活動や小学校への出前授業など、海ごみ問題を自分ごとと受けとめる人づくりにも力を入れている。
下村委津子氏 NPO法人環境市民 副代表理事	1992年設立。持続可能で豊かな社会・生活をビジョンに掲げ、全国の団体と協働で「企業のエシカル通信簿」や「全国スーパー環境調査」などに取り組んでいる。スーパー調査の結果をもとに、滋賀県への政策提言を行い、今秋県統一環境掲示が実現見込み。
庄田佳保里氏 NPO法人いけだエコスタッフ 理事長	池田市立3R推進センター(エコミュージアム)の運営や小学校教員の授業づくり支援など地域資源を活用した環境学習を推進。リユース活動から得た資金で市民共同発電所の設置も行う。近年、庄田氏が農業委員を務めるなど環境行政以外との連携がひろがっている。
水川晶子氏 アジェンダ21すいた 幹事 資源部会代表	長い間、ノーレジ袋運動に取り組んできた。プラごみ削減のための「神崎川河畔プラごみゼロアクション」を毎年行っている。プラ容器削減のため「マイボトル対応カフェマップ」によるマイボトル運動や「水道水を飲もうキャンペーン」などの活動。

(4) KSP分科会第5回イベント  
「持続可能な地域づくり×協働を学ぶ」  
(チラシ)

関西 SDGs プラットフォーム「ローカル SDGs・脱炭素分科会」第 5 回イベント

通称：KSP ローカル SDGs・脱炭素分科会

## 持続可能な地域づくり × 協働を学ぶ！

～環境・社会・経済課題の同時解決に必要なプラットフォームとは～

# 2024年12月19日

木

# 13:30 - 16:30

(受付開始 13:00)

環境省

ローカル SDGs・脱炭素分科会 (注) 第 5 回イベント！

環境省は、地域課題の解決に取り組む地域同士が相互に支え合う「自立・分散型の持続可能な社会」である地域循環共生圏づくりを進めており、その実現に必要な環境・社会・経済の課題を同時に解決する事業（ローカル SDGs 事業）の創出やネットワークの拡大には「協働」が欠かせません。そして、地域で協働が生まれるプラットフォームとなっているのが「中間支援機能」を持つ団体や施設であり、その重要性は増えています。

今回、持続可能な地域づくりを研究・実践される方々をお招きし、中間支援機能の役割や事例などを紹介するとともに、参加者同士のネットワーキング会を開催することで、地域づくりのこれからについて皆さんとともに考えていきたいと思いをします。

会場

### 大阪市立総合生涯学習センター（梅田）

(大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第 2 ビル 5・6 階)  
最寄：JR：「大阪」東西線「北郡站」 徒歩：東中津橋「大阪梅田」 阪急電車「大阪梅田」  
Osaka Metro：御堂筋線「梅田」 四つ橋線「西梅田」 谷町線「東梅田」

定員

会場約 60 名 (申込先着順)  
※当日オンライン配信あり

対象

### 関西で地域・まちづくりやビジネスなどに 取り組むすべての方

例えば…

- ・持続可能な地域づくりを推進したい又は地域課題・社会課題を抱えている企業・自治体・NPO 等の方
- ・地域づくりや地域課題解決等に取り組む方々とつながりたい方
- ・「中間支援機能」に興味のある企業・自治体・NPO 等の方
- ・「中間支援機能」を持つ方々とつながりたい方

参加費

無料

お問合せ

きんき環境館

TEL 06-6940-2001 MAIL office@kankyokan.jp

申込方法

下記 URL または、  
左の QR コード  
参加申込フォームから  
お申込みください。

<申込>切：2024年12月16日(月)>  
<https://forms.gle/dNoxPZeYK8BsNGj6>

◎主催

環境省近畿地方環境事務所

◎協力

近畿経済産業局、近畿財務局

◎協働運営

きんき環境館

※(注) 関西 SDGs プラットフォーム「ローカル SDGs・脱炭素分科会」  
環境・社会・経済が統合的に向上する持続可能な地域・経済圏づくりの推進及び地域脱炭素を通じた関西の活性化を目的として、関西 SDGs プラットフォーム (注①) の実現を目指す関西圏の約 2,000 の企業・自治体・団体等が登録しているプラットフォーム (通称：KSP) に環境省近畿地方環境事務所が設置した分科会、ローカル SDGs・脱炭素の実践に役立つ情報発信や事例紹介のほか、事業創出に向けた出会いの場づくり、総論の壁を越えた賛同者同士のネットワーク形成、地域活性化人材育成プログラムの開発・試行などに取り組めます。それにより、ローカル SDGs を実践する人たちのエコシステム (生態系) の形成と発展の仕組み化、脱炭素の要素も加えた地域の未来像の共有、実践の促進を図ります。(URL：関西 SDGs プラットフォーム Kansai-edgs-platform.jp)

## 登壇者プロフィール



平岡 俊一 氏（滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 准教授）

1978年愛媛県生まれ。NPO 法人気候ネットワーク、北海道教育大学釧路校などを経て、2018年から現職。博士（社会学）。市民参加・協働型の持続可能な地域づくり、脱炭素地域づくり推進のための仕組み・組織づくりについて各地でのフィールドワークをもとに研究。中間支援体制の整備・強化に関する各地での取組への支援にも取り組む。著書に『エネルギー・ガバナンス』（学芸出版社、共著）、『エネルギー自立と持続可能な地域づくり』（昭和堂、共編著）など。



清水 広行 氏（エネシフ湖北）

1986年生まれ。元スノーボード選手。2016年に地元の滋賀県長浜市西浅井町にUターン。農業プロジェクトであるRICE IS COMEDYをはじめ環境・教育事業まで事業化を目指した活動に力を入れる。活動の根底にあるのは「地元を徹底的に楽しむこと」。現在、エネシフ湖北の代表としてエネルギー関連の取組も開始。



志場 久起 氏（認定特定非営利活動法人 わかやま NPO センター 理事長）

1976年和歌山県海南市生まれ。学童保育指導員を経て、2002年7月からわかやま NPO センタースタッフとして和歌山県内の NPO の設立・運営支援などに取り組む。2022年6月から現職。ほかに公共交通活性化や都市計画、まちづくりの活動にも関わっている。

### プログラム（予定） ※講師、プログラムは変更になる場合がございます。

- 13:30 開会挨拶・趣旨説明
- 13:35 第1部 基調講演  
「持続可能な地域づくりにおいて中間支援組織に期待されるもの」  
滋賀県立大学 平岡 俊一 氏
- 14:00 第2部 事例紹介&トークセッション  
事例紹介  
「自分ごと出来る実は身近な地域エネルギー」  
エネシフ湖北 清水 広行 氏  
「NPO 中間支援組織ってなにやってるん？」  
わかやま NPO センター 志場 久起 氏  
トークセッション  
「中間支援機能を高めた地域の未来」（平岡 氏、清水 氏、志場 氏）
- 15:45 第3部 グループディスカッション、ネットワーキング  
・各テーマに分かれ、登壇者・参加者を交えたグループディスカッションを行い、自由に情報・意見交換・ネットワーキングを行います

「第3部は、オンラインの配信はございません。  
ご参加希望の方はぜひ対面でご参加ください。」

(5) KSP分科会第6回イベント

「歩いて行ける多機能拠点「地域の集いの場」から創る未来の暮らし」  
(チラシ)

関西 SDGs プラットフォーム「ローカル SDGs・脱炭素分科会」第6回イベント

通称：KSP ローカル SDGs・脱炭素分科会

～人口減少社会の地域課題を統合的に解決！～

歩いて行ける多機能拠点  
「地域の集いの場」から創る未来の暮らし

2025年1月21日 火 13:00 - 18:00  
(受付開始 12:30)



ローカル SDGs・脱炭素分科会 (※) 第6回イベント！

高齢化、人口減少社会に突入し、税収も減少していく現在、既存の公共サービスを提供し続けるには、相当な工夫が必要です。そのため、地域コミュニティの互助・共助の力も交えて課題を解決し続けていくことが重要となります。一方で、住民主体による互助・共助が起こる地域コミュニティは強制して築けるものではなく、互助・共助が自発的に起こりやすい土壌作りが必要となってきます。この土壌づくりに向けて、国の各府省庁、自治体の各部署、民間セクターはそれぞれの領域をまたぎ、統合的に支援する必要性が高まっています。

今回は、福祉・通信・交通・住宅・食・資源・エネルギー等の地域内循環を最大限活用することにより、徒歩圏内にある地域の集いの場を多世代が参画する地域協働体構築の基点とする具体事例と、関連する各府省庁の事例や支援策を紹介し、実現に向けたヒントをお伝えします。

会場

QUINTBRIDGE 1F

(大阪府都島区東野田町4丁目15番82号)

JR大塚線「京橋駅」北口：徒歩約10分 京阪本線「京橋駅」西口：徒歩約10分 地下鉄長堀鶴見緑地線「京橋駅」：徒歩約5分

対象

- ・ 地方自治体職員
- ・ 社会課題解決に取り組む企業、NPO、大学関係者、個人

例えば…

- ・ 地域から相談を受ける内容が部署の領域を超えていて、対応に悩んでいる
- ・ 人口と税収が減少する中で、自治体として移行計画が明確に定まっていない
- ・ 徒歩圏内の多世代参加コミュニティを作りたいが、一部の元気な地域・自治体以外に広がらない
- ・ 民間ノウハウを地域課題解決につなげたいが、公共領域の協力がうまく得られない

お問合せ

きんき環境館

TEL 06-6940-2001

MAIL office@kankyokan.jp

定員

会場約70名 (申込先着順)  
※当日オンライン配信あり

参加費

無料

申込方法



下記 URL または、  
左の QR コード  
参加申込フォームから  
お申込みください。

＜申込〆切：2025年1月19日(日)＞  
<https://forms.gle/ivsBuwe2ZUAkGw9X7>

主催

環境省近畿地方環境事務所

協力

近畿経済産業局、近畿財務局、近畿総合通信局、  
近畿農政局、近畿地方整備局、近畿運輸局

協働運営

きんき環境館

■(注) 関西 SDGs プラットフォーム「ローカル SDGs・脱炭素分科会」

環境・社会・経済が統合的に向上する持続可能な地域・経済圏づくりの推進及び地域脱炭素を通じた関西の活性化を目的として、関西 SDGs プラットフォーム (SDGs の実現を目指す関西圏の約2,000の企業・自治体・団体等が登録しているプラットフォーム (通称：KSP)) に環境省近畿地方環境事務所が設置した分科会、ローカル SDGs・脱炭素の実践に役立つ情報発信や事例紹介のほか、事業創出に向けた出合いの場づくり、組織の壁を越えた実務者同士のネットワーク形成、地域活性化人材育成プログラムの開発・試行などに取り組みます。それにより、ローカル SDGs を実現する人たちのエコシステム (生態系) の形成と発展の仕組み化、脱炭素の要素も加えた地域の未来像の共有、実践の促進を目指します。(URL：関西 SDGs プラットフォーム (kansai-sdgs-platform.jp))

## 主な登壇者プロフィール



### 平山 裕也 氏（奈良県奈良市 月ヶ瀬行政センター）

三菱東京UFJ銀行から転職し2015年に奈良市役所入庁。奈良市観光協会出向、NPO法人新公益連盟派遣を経て、現在、「Local Coop 大和高原プロジェクト」を担当。民間企業等とともにLocal Coop構想の実現に向けて取り組んでいる。



### 郡司掛 ひろみ 氏（福岡県豊前市総合政策課 地域創生推進係）

2010年豊前市役所入庁。財政や税などの部署を経て現職。地域資源の磨き上げや人の繋がりづくりを進める「ひとりひとりが主役の豊前市「ハレノヒ」実現プロジェクト」や、短時間ワークショップの仕組みにより多様な人が社会と繋がるきっかけを創る「おしごとパレットプロジェクト」、循環と共生のまちづくり「Re:ふぜんプロジェクト」などを企画。「自分たちごと」としての「地域」創生を目指し、市内外の人や企業と一緒に日々奮闘中。



### 野崎 伸一 氏（一般社団法人 エコシステム社会機構 事務局長）

1999年厚生省入省。近年は、政策企画官、生活困窮者自立支援室長/地域共生社会推進室長、広務室長、高齢者雇用対策課長などを務める中「地域共生社会」のコンセプトづくりから政策立案に関わる。2022年から、官民交流制度によりアマタホールディングス(株)で執行役員等を務める。2024年4月、一般社団法人エコシステム社会機構の事務局長に就任（現在も出向中）。

## プログラム（予定） ※開催、プログラムは変更になる場合がございます。

- 13:00 開会挨拶・趣旨説明、取組紹介  
環境省 近畿地方環境事務所 環境対策課長 鈴木 啓太
- 13:05 第一部 講師講演
  - ・ Local Coop 大和高原プロジェクト ～住民自治と住民共助による持続可能な地域づくり～  
(奈良市 平山 裕也 氏)
  - ・ 関係性を基盤とする「心地良い」協働のカタチ～Re:ふぜんプロジェクト  
～サーキュラーシステムが紡ぐ小さな拠点2.0～ (豊前市 郡司掛 ひろみ 氏)
  - ・ 循環・共生の「まるごと」の社会づくり ～ボトムアップの公民連携の実装～  
(一般社団法人エコシステム社会機構 野崎 伸一 氏)

### ● 14:50 第二部 支援事業ピッチ

地域包括ケアシステムの構築を通じた支え合い	近畿厚生局 地域包括ケア推進課
デジタルで地域をつなぎたい！を支える地域情報化アドバイザー制度	近畿総合通信局 情報通信振興課
空き家活用で繋がるまちの居場所	近畿地方整備局 住宅整備課
地域の連携・協働による地域交通の維持・活性化 ～共創プロジェクト事例紹介～	近畿運輸局 交通企画課
農村型地域運営組織（農村RMO）の推進～地域で支え合うむらづくり～	近畿農政局 農村計画課
サーキュラーエコノミー実現に向けた取組 Rethink Design プロジェクト ～視点を変えれば、価値がめぐる～	近畿経済産業局 環境・資源循環経済課
地域の協働を促進する役割としてのきんぎ環境館	きんぎ環境館

- 16:28 第三部 各登壇団体との対話、ネットワーキング
  - ・ 各テーマに分かれ、登壇者・参加者を交えたグループディスカッションを行い、自由に情報・意見交換・ネットワーキングを行います

第三部は、オンラインの配信はございません。  
ご参加希望の方はぜひ対面でご参加ください。

(説明資料)

～人口減少社会の地域課題を統合的に解決！～  
歩いて行ける多機能拠点  
「地域の集いの場」から創る未来の暮らし



環境省  
**きんき環境館**  
近畿環境パートナーシップオフィス

.....

**地域の協働を促進する役割としての  
きんき環境館**

2025年1月21日(火)

きんき環境館 (請負団体：NPO法人エコネット近畿)  
岡見 厚志

## 協働取組の拠点（ハブ）としての役割



環境パートナーシップオフィス（通称：**EPO**）は、  
環境教育等促進法に基づき**環境省**によって全国に8か所設置された  
「**環境保全**の意欲の増進の拠点」であり、「**協働取組の拠点**」です。



## 全国と連携した中間支援拠点



全国のEPO（環境パートナーシップオフィス）や  
GEOC（地球環境パートナーシッププラザ）との連携



各地にESDセンターも併設

※Education for Sustainable Development

EPO、GEOCとは？  
詳細は以下よりご覧ください



きんき環境館



3

## きんき環境館ができること



### 環境課題の解決

（脱炭素、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミー、ESD等）

に直接的に関連のあることだけでなく、  
地域循環共生圏づくりに繋がる支援を  
多面的に行います。

（地域交通、地域金融・ESG金融、防災、教育、ツーリズム等）

- ① 伴走支援（地域循環共生圏関連事業）
- ② 相談対応（タネ探しから事業化までの支援）

4

## ① 伴走支援（地域循環共生圏関連事業）



### 地域循環共生圏づくりに取り組む地域の支援

※地域循環共生圏づくり支援体制構築事業の採択先、3地域の地域循環共生圏づくりに取り組む地域の団体を支援する中間支援を支援する

- 全国8か所のEPOで各地採択団体の支援を実施
- 近畿支援先3団体
  - 滋賀県長浜市（エネシフ湖北×ともすラボ）
  - 奈良県奈良市（一般社団法人TOMOSU×奈良コクリ！実行委員会）
  - 京都府京都市（梅小路クリエイティブプラットフォーム×一般社団法人Design Week Kyoto実行委員会）
- 具体的な支援
  - 全国の団体と対面の成果報告会・・・つながり強化・ノウハウ共有
  - 3地域共有会・・・情報交換や互いを視察できる機会を設定
  - 各団体との定期的な会議・・・中間支援に関するノウハウ伝授、相談に対する助言、関連施策・団体・人材の紹介等を行う



5

## ② 相談対応（タネ探しから事業化までの支援）



### 環境や地域づくりに関する相談はきんき環境館へ！

属性	一般市民	NGO/NPO 市民団体	行政	企業	学校/ 専門家等	環境系 施設等	計
件数	6	50	21	32	16	3	128

例)

- A県としてイベントを主催するため、広報を協力して欲しい  
→メルマガでの発信やチラシの配架などを対応
- B社として学校や地域における環境啓発の取組をさらに広げたい  
→B社近隣自治体を繋ぎ、その後連携した取組に発展
- C市において自然共生サイトの登録を検討したい場所がある  
→環境館主催の自然共生サイト関連のイベントを紹介

6

支援として、主にきんき環境館ができること  環境省  
きんき環境館  
公益財団法人リーディング・センター・オフィス

- A 情報発信
- B 対話の場づくり
- C 先進事例の情報収集

7

## A 情報発信



発行部数4,000件以上のメールマガジンによる発信

- 発行部数4,000件以上
- 配信先は、行政、企業、NPO、市民団体、大学、教育機関等多様
- 原則毎月2回配信（第2、第4水曜日）

配信依頼はこちらから



8

## A 情報発信

### 近畿各地の取組事例をインタビューし、動画でご紹介

- 近畿各地の取組事例をインタビューし、動画でご紹介（今年は「中間支援」にフォーカス）
- 第1弾は、京丹後市未来チャレンジ交流センター「roots」をインタビュー  
⇒ 高校生の「やってみたい」という思いを、地域の活性につなげる形で具体化
- 今後も地域循環共生圏に繋がる近畿の多様な取組を発信します



動画はきんき環境館  
HPからご覧いただけます。  
(近日公開予定)



9

## B 対話の場づくり

### 自治体職員が集まり、情報交換をする場づくり

- 2024年度は、プラスチックごみ対策に取り組む  
地方自治体職員の情報交換会を開催  
⇒近畿圏内の自治体による先進事例紹介と  
NPOによる先進事例を紹介  
⇒情報交換の場では、自治体職員だけが集まる  
場だからこそできる深い対話に
- 規模感は、テーマや目的に合わせて検討をして  
いるため、10～70人と幅広く実施
- 意見交換したいテーマ等あればご相談ください

2024年11月20日（水）開催  
11自治体18名参加



10

## C 先進事例の情報収集

### 近畿各地の地域循環共生圏に繋がる先進事例を視察

- 近畿各地の地域循環共生圏に繋がる先進事例を調べ、視察
- 地域の活動現場視察や主要なステークホルダーへのヒアリングを通し、関係性を構築し、事例のポイント、現地ニーズを把握する
- 収集した情報を基に、当該地域への支援だけでなく、情報発信、他地域への支援などに繋げる

#### ■2024年度は以下を視察

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>• 認定特定非営利活動法人わかやまNPOセンター</li><li>• 中田の棚田再生プロジェクト</li><li>• 特定非営利活動法人シミンズシーズ</li><li>• 京都市市民活動総合センター</li><li>• NPO法人京都丹波・丹後ネットワーク</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>• NPO法人CUE</li><li>• 高槻バイオチャーエネルギー研究所</li><li>• 一般社団法人大和森林管理協会</li><li>• 一般社団みんなとふるさと</li><li>• 京丹後市未来チャレンジ交流センター「roots」</li></ul> |
|--|--|
- など（順不同）



天理市及び山添村を中心に活動している一般社団法人みんなとふるさとの様子

11

### たとえば、こんな時に頼ってください

- 地域循環共生圏に関わるような取り組みをしたいけど、なにかから始めたらいいかわからない…
- 地域の団体と協働で取り組みを進めたいけど、他の地域ではどうやっているんだろう…
- いま、進めている取組を発信したいけど、環境省として何かサポートしてくれないかな…
- これから進めたい取組があるけど、環境省？農水省？経産省？どこに相談に行けばいいかわからない…

12

ご相談お待ちしております



いつでもご連絡ください！

いつでもお気軽に、お電話、メールお待ちしております！  
来訪も下記の開館日はいつでもお待ちしております。

開館日：月曜日～金曜日 10:00～18:00

住所：〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 OMM5F

電話：06-6940-2001

メール：office@kankyokan.jp

13

きんき環境館・ESDセンター 請負団体運営体制



※契約開始 R5.4.1～（現在2年目）

岡見 厚志

統括



<ネットワーク・強いテーマ>  
・地域コーディネーター  
・ボランティアコーディネーター  
・ファシリテーション  
・地域循環共生圏  
・ごみゼロ

寺岡 剛太

マネージャー



<ネットワーク・強いテーマ>  
・中間支援  
・ソーシャルビジネス  
・ファシリテーション  
・団体支援

松田 直子

マネージャー



<ネットワーク・強いテーマ>  
・バイオマス  
・林業  
・自然体験

堀 孝弘

チーフコーディネーター



<ネットワーク・強いテーマ>  
・環境NPO/NGO  
・廃棄物  
・環境基本計画策定支援  
・行政  
・大学

栗田 姿子

チーフコーディネーター



<ネットワーク・強いテーマ>  
・IT、通信関係  
・中小企業支援

小路 楓

コーディネーター/ESDセンター担当



<ネットワーク・強いテーマ>  
・ESD  
・河川生態系  
・高校の総合探究  
・ファシリテーション  
・グラフィックレコーディング  
・EPOネットワーク（元EPO北海道職員）

山下 比呂

スタッフ



<ネットワーク・強いテーマ>  
・助成金、資金調達  
・団体支援  
・会計（NPO会計）  
・オンライン配信/ハイブリッド配信

小山 絵美子

スタッフ/広報担当



<ネットワーク・強いテーマ>  
・動画配信  
・広報  
・SNS/HP  
・フリースクール

きんき環境館アドバイザー委員会／近畿ESD センター企画運営委員会

きんき環境館アドバイザー委員会

秋田 大介氏	株式会社イマゴト 代表取締役
黒田 桂菜氏	大阪公立大学 准教授
田口 真太郎氏	成安造形大学 未来社会デザイン共創機構 研究員 講師
永井 美佳氏	社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事／事務局長
新川 達郎氏	同志社大学 名誉教授
森 伊知郎氏	Future Creation Lab. オブリガード 代表

近畿ESD センター企画運営委員会

尾上 忠大氏	公益財団法人吉野川紀の川源流物語 事務局長
上村 有里氏	NPO法人とよなかESDネットワーク 事務局長
来田 博美氏	公益財団法人淡海環境保全財団 キャリアアドバイザー
庄田 佳保里氏	NPO法人いけだエコスタッフ 理事長
中澤 静男氏	奈良教育大学 ESD・SDGsセンター センター長
中島 恵理氏	同志社大学 教授
長友 恒人氏	奈良教育大学 名誉教授 日本ESD学会 初代会長
平井 研氏	一般社団法人加太・友ヶ島環境戦略研究会

近畿ESD活動支援センター

- きんき環境館と併設。全国8か所に設置
- ESD（Education for Sustainable Development／持続可能な開発のための教育）を広げるため、相談対応、情報発信、ネットワーク形成、取組支援等を実施
- 今年度は、自治体環境部局と教育委員会の方々を対象に互いの連携促進を図る企画を5回の連続企画として実施
- 1月26日（日）には地域と学校が連携した様々な事例紹介と交流の場である地域フォーラムを開催予定

近畿地方 ESD 推進ネットワーク  
地域フォーラム 2024  
子どもたちと地域のかかわりから始まる、  
もっとおもしろい ESD の学び

日時 2025年1月26日 ● 10:00～15:30 (開場 9:30)

会場 OMMビル2階 201-202 会議室

定員 30名 (申し込み先着順)

対象 ESDの推進に関心のある、あるいは実践している自治体関係者、教育委員会関係者、ESDの推進に関心のある団体（主に環境教育関係の方）の方、ESD推進関係者の方、NPO/NGOの方、企業関係の方、個人

もっとおもしろくなるESDの学び  
～持続可能な実践に向けた挑戦～

子どもたちと地域の未来を作るということ  
～天理市福住地区のウェルビーイング～

主催 近畿地方 ESD 活動支援センター、環境省近畿地方環境事務所  
後援 滋賀県教育委員会、京都府教育委員会、大阪府教育委員会、奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会、兵庫県教育委員会、徳島県教育委員会

3 地域循環共生圏構築に向けた身近な自然資本の活用に関する意見交換会の開催  
【本編章番号3-(4)②】

(1) 第1回「自然共生サイトを活用したネイチャーポジティブの取組」  
(チラシ)



## 自然共生サイトを活用した ネイチャーポジティブの取組

自然共生サイトの運営をテーマに、第1回では、有識者や認定サイトの皆さんにご登壇いただきます。第2回では、自然共生サイト1か所へ直接お伺いし、より理解を深めます。



**第1回**

# 2024年10月2日

水 14:00～17:00  
(受付開始 13:45)



**主催：**環境省近畿地方環境事務所、一般社団法人日本環境アセスメント協会関西支部  
**協働運営：**きんき環境館

**14:00～15:40**  
第1部  
ネイチャーポジティブに関する最新情報や自然共生サイトの地域における企業や団体との連携事例をたっぷりお伝えします。  
※このセミナーは、EAS-CPD制度の認定プログラム対象セミナーです。環境アセスメント士など当協会のCPD認定プログラムが活用できる資格をお持ちの受講者の方には、認定証を発行致します。

**15:40～17:00**  
第2部  
自然共生サイト担当者及び申請を検討している企業や団体同士の交流の場です。また、自然共生サイトでの活動や地域連携における課題を出し合い、ネイチャーポジティブに向けた取組みを考えます。

**定員**

70名

---

**定員**

40名

※第一部の参加者の内

**会場**

いであ株式会社 大阪支社 6階ホール

(大阪市住之江区南港北1丁目24番22号)  
大阪メトロ中央線「コスモスクエア」駅より徒歩3分



参加費

無料



近隣詳細図  
いであ株式会社 大阪支社

**プログラム** ※講師、プログラムは変更になる場合がございます。

**<第1部>**

14:00～ **講演1** 「OECM、自然共生サイトに関する国の動向について」  
環境省 近畿地方環境事務所 自然環境調整専門官 西野 敦

14:15～ **講演2** 「ネイチャーポジティブにおける地域社会と企業との連携の価値」  
公益財団法人日本自然保護協会ネイチャーポジティブタスクフォース主任 高川 晋一氏

15:00～ **事例紹介** 「積水樹脂(株)の生物多様性保全活動 ～生きものをつなげる地域の輪～」  
積水樹脂株式会社 安全・品質・環境部 福田 和美氏  
「ササユリからつながりが広がる里山保全活動」  
みなくち子どもの森(甲賀市) 学芸員 小西 省吾氏、自然観察指導員 横舘 純子氏

15:30～ **話題提供** 「ネイチャーポジティブの取組に関する支援策について」  
一般社団法人日本環境アセスメント協会 関西支部 会員企業  
株式会社 地域環境計画 大阪支社 生物多様性推進室 室長 榎岸 理佳子氏

**<第2部>**

15:45～ **ネットワーキング**

17:00 **閉会、名刺交換等交流**

**第1回 申込方法**

<https://forms.gle/VMRsk83PVSHhTx0p8>

申込×切：2024年9月30日(月) 上記URLまたは、  
右のQRコードの申込フォームからお申し込みください。





2024年11月開催予定  
第1回開催時に  
詳細をお知らせします。

主催：環境省近畿地方環境事務所  
協働運営：きんき環境館



お問合せ

きんき環境館

TEL : 06-6940-2001  
E-mail : office@kankyokan.jp



(2) 第2回「自然共生サイトを活用したネイチャーポジティブの取組」  
(チラシ)



## 自然共生サイトを活用した ネイチャーポジティブの取組

自然共生サイトの運営をテーマに、第1回では、有識者や認定サイトの皆さんにご登壇いただきました。

第2回では、自然共生サイト1か所へ直接お伺いし、より理解を深めます。



2024年11月20日 水 13:00～16:00



みなくち子どもの森（滋賀県甲賀市）

対象		会場	
自然共生サイト担当者及びサイト登録を検討している、あるいは自然共生サイトを、資金や人材の面で支援したいと考える企業、NPO、行政、個人の方		<b>みなくち子どもの森</b> （滋賀県甲賀市水口町北内貴10） お車でお越しの方 新名神 甲賀土山ICから15分／新名神 甲南ICから15分、 国道307号線水口大橋南詰を東側すぐ 駐車場有（普通車50台 大型バス駐車可）  公共交通機関でお越しの方 JR草津線貴生川駅下車徒歩20分／タクシー5分 または、JR草津線貴生川駅から市コミュニティバス 土山本線で「JAこうか」下車、徒歩800m（約15分）	
定員	参加費		
20名	無料		

プログラム		※案内人、プログラムは変更になる場合がございます。	
13:00～	開会	（自然館講習室・受付開始 12:30）	
13:05～	現地見学	（ササユリ保全活動の現場等）  案内人：学芸員 小西省吾氏、自然観察指導員 橋詰 純子氏 ・ネイチャーポジティブにつながる保全管理のノウハウと実際 ・モニタリングと情報管理について ・地域、学校への普及活動について	
15:00～	グループディスカッション	テーマ：多様な団体との連携を進めるための工夫	
16:00～	閉会		

第2回 申込方法	
<a href="https://forms.gle/bJHKHeXPWHUP3qz9A">https://forms.gle/bJHKHeXPWHUP3qz9A</a> 申込め切：2024年11月18日（月） 上記URLまたは、右のQRコードの 申込フォームからお申し込みください。	

主催：環境省近畿地方環境事務所  
協働運営：きんき環境館



お問合せ

きんき環境館

TEL：06-6940-2001  
E-mail：office@kankyokan.jp



4 「2030学びあいプロジェクト」の企画等【本編章番号 4-(6)①】  
(チラシ)



The poster features a blue background with white and yellow text. At the top right, the title 'ESD for 2030 学びあいプロジェクト' is written vertically. On the left, a circular inset shows a group of people in a meeting. Below this, the text 'その悩み 仲間と一緒に考えよう' is displayed. The main content is organized into three sections: '第1回' (Cancelled), '第2回' (Cancelled), and '最終回' (Final). A red-bordered box highlights a '日程変更' (Schedule Change) for the second session to 10/20. A '参加費' (Participation Fee) box states '無料' (Free). An '対象' (Target Audience) box lists '教育委員会事務局' and '学校教員'. A '主催' (Organizer) box lists '近畿地方 ESD 活動支援センター' and '環境省近畿地方環境事務所'. A small note at the bottom left explains the cancellation of the first and second sessions.

# ESD for 2030 学びあいプロジェクト

その悩み  
仲間と一緒に  
考えよう

**第1回** <sup>2</sup> 地域の魅力を発見する教育実践①

~~日時 2024/8/19 (月) 14:00~16:30~~

~~会場 CANVAS 谷町セミナー室 1&2~~  
~~(大阪市中央区谷町2丁目2-20 大子ビル第1・2F)~~

**主催紹介** 草津市教育委員会

**第2回** <sup>1</sup> 地域の魅力を発見する教育実践②

~~日時 2024/9/7 (土) 14:00~16:30~~

~~会場 CANVAS 谷町セミナー室 1&2~~  
~~(大阪市中央区谷町2丁目2-20 大子ビル第1ビル2F)~~

**主催紹介** 奈良市教育委員会

**最終回** みんなで考える活動計画案

日時 2024/12/26 (木) 14:00~16:30

会場 エル・おおさか 本館 9階 9012  
(大阪市中央区北浜東 3-14)

※連続企画ですが、いずれか1回のみの参加も可能です。ただし、最終回への参加は、第1回、第2回いずれかへの参加が必要です。

**日程変更** となりました。

**変更日時** 10/20 (日) 14:00~16:30

**場所** エル・おおさか 南館 7階南 72  
(大阪市中央区北浜東 3-14)

**参加費** 無料 (要申込)

**対象** 教育委員会事務局  
(指導主事の方等) の方々、  
学校教員の方々

- 環境教育や ESD の実践に興味のある方、課題を抱えている方
- 仲間づくりをしたい方

**主催** 近畿地方 ESD 活動支援センター  
環境省近畿地方環境事務所



近畿地方  
ESD活動支援センター  
Education for Sustainable Development

近畿地方 ESD 活動支援 センターでは、脱炭素社会および持続可能な社会の担い手づくりを目的とした ESD for 2030 学びあいプロジェクトを実施しています。今年度は、「教育委員会や学校教員と自治体環境部局の連携」をテーマに、事例紹介や意見交換を行います。最終回のワークショップでは、自治体環境部局の方との交流や、次年度に繋がる活動計画案を作成する場もご用意しています。ESD 実践の情報収集やお悩み相談の場としてぜひお役立てください。

## プログラム

※プログラムの一部は後日、アーカイブ配信を予定しております。

### 教育委員会・学校教員向け

**第1回** 地域の魅力を発見する教育実践① **教**

事例紹介 草津市教育委員会  
学校教育課 学校教育係長 中村大輔氏

日時 ~~2024/8/19 (月) 14:00~16:30~~  
⇒2024/10/20 (日) 14:00~16:30

定員 20名

様々な地域課題を体験的な学びを通して、その解決に子どもたちが主体的にかかわり、地域社会の一員としての意識と行動力を身につけることをめざす「スクールESD くさつプロジェクト」について紹介いただきます。また、参加者意見交換を行います。

**第2回** 地域の魅力を発見する教育実践② **教**

事例紹介 奈良市教育委員会 教育部  
学校教育課 指導係 指導主事 三木恵介氏

日時 2024/9/7 (土) 14:00~16:30

定員 20名

特別天然記念物や世界文化遺産に指定、登録されている春日山原始林の環境保全をテーマとした、VRを使用した先進的な取り組みや、多様な観点から学ぶ世界遺産学習の実践についてご紹介いただきます。第1回に引き続き、みなさんと意見交換を行います。

**ストラテジーミーティング** 日時 / 場所 2024/11/18 (月) 16:00~18:00 **教 自**  
エルおおさか本館 701 定員 20名

最終回で教育委員会や学校教員と自治体環境部局が連携した活動計画を作成できるよう、有識者等アドバイザーを交え意見交換を行います。

### 自治体環境部局向け

**第3回**

日時 2024/10/11 (金)

※詳細は環境部局対象チラシ(8月中公開予定)を参照

それぞれの自治体環境部局で実施している自治体環境部局と教育委員会が連携した好事例などの取組を発表し、お互いの活動の参考にします。

そんな事例があるんだー！

みんなで考えて、解決へつなげよう。

**最終回** みんなで考える活動計画案 日時 2024/12/26 (木) 14:00~16:30 **教 自**

定員 40名

上記で学んだ事を踏まえ、来年度やってみたいことを元にした活動計画案を各個人で作成します。また、この回は教育委員会・学校教員と自治体環境部局を対象としています。有識者等アドバイザーを交え、2者が交流し、環境教育を促進するための連携のきっかけづくりを行います。

**お申込み** ※先着順とさせていただきます。  
※アーカイブ動画の共有を希望する方は、当日不参加の場合でもお申し込みください。

申込フォームにてお申込みください。  
(フォーム URL: <https://forms.gle/TRJggLtBdPndDmz6>)  
またはお問合せ先メールアドレスに、  
1.お名前、2.ご所属、  
3.ESD や環境教育の実践に関するお悩み(あれば) をお送りください。  
※申込締切: 各回開催日の3営業日前



申込フォーム

### お問合せ

近畿地方 ESD 活動支援センター  
(担当: 小路(しょうじ)、岡見)

Mail: [office@kinki-esdcenter.jp](mailto:office@kinki-esdcenter.jp)  
Tel: 06-6948-5866

# ESD for 2030 学びあい、 プロジェクト



その悩み  
仲間と一緒に  
考えよう

第1回

第2回

教育委員会事務局、学校教員向けに実施予定（裏面参照）

第3回

他自治体の取組から学ぶ担い手づくり

日時 2024/10/11（金）14:00~16:30

会場 CANVAS 谷町セミナー室 1&2  
(大阪市中央区谷町2丁目2-20 大子創業第一ビル 2F)

事例紹介 参加自治体のみなさま

最終回 みんなで考える活動計画案

日時 2024/12/26（木）14:00~16:30

会場 エル・おおさか 本館9階 9012  
(大阪市中央区北浜東 3-14)

※最終回への参加は、第3回への参加が必要です。

参加費

無料 (要申込)

対象

自治体環境部局の方々

- 環境教育やESDの実践に興味のある方、課題を抱えている方
- 仲間づくりをしたい方

主催

近畿地方ESD活動支援センター  
環境省近畿地方環境事務所





近畿地方  
ESD 活動支援センター  
Education for Sustainable Development

近畿地方 ESD 活動支援センターでは、脱炭素社会および持続可能な社会の担い手づくりを目的とした ESD for 2030 学びあいプロジェクトを実施しています。今年度は、「教育委員会や学校教員と自治体環境部局の連携」をテーマに、事例紹介や意見交換を行います。最終回のワークショップでは、教育委員会や学校教員の方との交流や、次年度に繋がる活動計画案を作成する場もご用意しています。ESD 実践の情報収集やお悩み相談の場としてぜひお役立てください。

## プログラム

※プログラムの一部は後日、アーカイブ配信を予定しております。

### 自治体環境部局向け

#### 第3回 他自治体の取組から学ぶ担い手づくり

事例紹介 参加自治体のみなさま

日時 2024/10/11 (金) 14:00~16:30

定員  
20名

各参加自治体環境部局のみなさまから5~10分程度の事例紹介をいただきます。気候変動教育、環境教育など ESD の実践事例、教育委員会と連携した事例など、他地域の最新の取組状況を知ることができます。また、事例紹介後は参加自治体間で意見交換を行い、それぞれが抱えている課題の解決策を模索します。



#### ストラテジーミーティング

日時 / 場所

2024/11/18 (月) 16:00~18:00  
エルおおさか本館 701

定員  
20名

最終回で教育委員会や学校教員と自治体環境部局が連携した活動計画案を作成できるよう、有識者等アドバイザーを交え意見交換を行います。

#### 最終回 みんなで考える活動計画案

日時 2024/12/26 (木)

14:00~16:30

自 教

定員  
40名

上記で学んだ事を踏まえ、来年度やってみたいことを元にした活動計画案を各個人で作成します。また、この回は教育委員会・学校教員と自治体環境部局を対象としています。有識者等アドバイザーを交え、2者が交流し、環境教育を促進するための連携のきっかけづくりを行います。

#### お申込み

※先着順とさせていただきます。  
※アーカイブ動画の共有を希望する方は、当日不参加の場合でもお申し込みください。

申込フォームにてお申込みください。  
(フォーム URL: <https://forms.gle/H1wy1J2GBt8xgY57>)

またはお問合せ先メールアドレスに、  
1. お名前、2. ご所属、

3. ESD や環境教育の実践に関するお悩み (あれば) をお送りください。

※申込締切: 各回開催日の3営業日前

#### 申込フォーム

#### お問合せ

近畿地方 ESD 活動支援センター  
(担当: 小路 (しょうじ)、岡見)

Mail: [office@kinki-esdcenter.jp](mailto:office@kinki-esdcenter.jp)  
Tel: 06-6948-5866

### 教育委員会・学校教員向け

※詳細は教育委員会・学校教員対象チラシを参照

第2回  
地域の魅力を発見する  
教育実践①

日時

日程変更しました。

~~2024/9/19 (月) 14:00~16:30~~  
⇒2024/10/20 (日) 14:00~16:30

子ども達が地域課題の解決に向け主体的に関わる草津市の取組を紹介いただきます。

第1回  
地域の魅力を発見する  
教育実践②

日時

2024/9/7 (土) 14:00~16:30

世界文化遺産である春日山原始林の環境保全など、奈良市の取組を紹介いただきます。



# ESD for 2030 学びあいプロジェクト 第5回



## 学びあいプロジェクトについて

気候変動時代のESDを促進するためにESD推進ネットワークで注力する、気候変動を切り口とし、地域の状況やニーズに応じたテーマを定めた学びあいの機会を提供することを目的としたプロジェクトです。

第1回 地域の魅力を発掘する教育実践（奈良市教育委員会の事例）

第2回 地域の魅力を発掘する教育実践（草津市教育委員会の事例）

第3回 他自治体の取組から学ぶ担い手づくり

第4回 ストラテジーミーティング

**第5回 令和7年度以降の活動計画づくり ←本日ココ**



1月26日（日）には、全5回のまとめとともに、様々な立場のESD実践者が出会える地域フォーラムを開催します

### 教育委員会（指導主事）と 学校教員を対象とした学びあい（2回）

#### <第1回、第2回>

先進事例共有を行うとともに、気候変動教育を実践する上で必要な視点を提供する

#### <事例紹介者>

- ・奈良市教育委員会
- ・草津市教育委員会

### 自治体環境部局を対象とした学びあい（1回）

#### <第3回>

自治体環境部局と教育委員会が連携した好事例等の共有を行う

#### <事例紹介者案>

- ・参加自治体が5～10分で事例紹介

### 最終回に向けた意見交換（第4回）

#### <第4回>

最終回の活動計画の作成のために、有志の参加者や有識者とともに各セクターにどんなことができるか、これまでの論点を整理する

### 令和7年度以降に向けた活動計画案の作成（第5回）12月26日開催

#### <第5回>

教育委員会と自治体環境部局が交流する場を作ることで連携のきっかけとする。また、参加者が先進事例共有を通して学んだことを踏まえた令和7年度以降の活動計画案を作成する。



#### 令和7年度

近畿ESDセンターが活動計画の実行支援や、実行に必要な教育行政と環境部局のマッチング支援等を行う

## 2024年度の学びあいプロジェクト第1回



2024年9月7日 地域の魅力を発掘する教育実践

対象：学校教員、教育委員会のみなさま

講師：奈良市教育委員会 三木恵介氏



#### 参加者数

学校教員：10名

教育委員会：1名

その他：1名

合計：12名



## 2024年度の学びあいプロジェクト第2回



2024年10月20日 地域の魅力を発掘する教育実践  
対象：学校教員、教育委員会のみなさま  
講師：草津市教育委員会 中村大輔氏



### 参加者数

学校教員：11名  
教育委員会：1名  
その他：1名

合計：13名



## 2024年度の学びあいプロジェクト第3回



2024年10月11日（金）  
他自治体の取組から学ぶ担い手づくり  
対象：自治体環境部局の方



### 参加者数

自治体環境部局：8名  
その他：1名

合計：9名





## 第1回の意見交換のポイント

事例紹介：奈良市教育委員会

意見交換の問い 学校と自治体等の連携には何が必要？

話した内容：

- ・ 学校と自治体との連携について先生自身が楽しむことが大事
- ・ こどもがワクワクし、先生も楽しめる地域との連携方法・内容
- ・ 地域と学校がWin-Winの関係となる課題（=テーマ）を見つける
- ・ 学校主催ではなく地域主催で行われる企画で連携する
- ・ 学校・地域が具体的なイメージを明確に共有すること
- ・ 指導者がビジョンを持つ



## 第2回の意見交換のポイント

事例紹介：草津市教育委員会

意見交換の問い 学校と自治体等の連携には何が必要？

話した内容：

- ・ 地域が人を育て、人が地域を育てる：学習指導要領改定（社会に開かれた教育課程）
- ・ 地域協同学校事業を活かしたスクールESD草津 →持続可能な地域づくり
- ・ 学校と地域等の連携をするうえでの負担のバランスをとる難しさについて
- ・ 現に存在する地域の課題を協同して解決するという方向性を共有
- ・ ESDコーディネーターの存在
- ・ 単元構想案レベルで目標を共有する重要さ
- ・ 地域と学校が話し合う場を設定する





## 第3回の意見交換のポイント

事例紹介：参加自治体（7自治体）

意見交換の問い 学校と自治体等の連携には何が必要？

話した内容：

- ・教育委員会を通して学校と連携する難しさについて
- ・個人の先生とつながった方が連携のスピードが上がる場合もある
- ・学校の負担感がない仕組みについて考えてみたい
- ・教員の教え方に対する思いと繋がりたい部局の手法との齟齬
- ・教材は学校のニーズを踏まえて準備する



## 第4回の共有

- ・やりたいことベースよりも地域課題をテーマとすることで、学校と地域の両者にとってWin-Win の関係を構築することが重要
- ・地域の課題にフォーカスすることで子どもの主体性を引き出すことができる

という話がありました





# 本日のゴール

活動計画案の作成を通して、  
地域と連携したESD実践をイメージする



## 学びあいプロジェクト 第5回ワークシート

記入者 ( ) 所属 ( )

目指したい状態

活動内容

時期	内容	連携主体

現状



目指したい状態 (詳しくに)

- ・どんな地域 (学校、クラス) になると良い?
- ・その状態はいつごろの想定?

活動内容

- ・時期・・・いつごろ
- ・内容・・・何をどうやって
- ・連携主体・・・だれと

現状

- ・出発点となる現在の取組、課題は何か?  
(抽象的なものよりも少し詳細なものだと考えやすいかもしれません)



# グループの成果発表

発表者のみ別のグループに移り発表を行います。他の参加者は発表後にフィードバックを行います。

1 ラウンド8分（フィードバック、質疑応答込み）です



5 ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【本編章番号 4-(7)①】  
(チラシ)

## 近畿地方 ESD 推進ネットワーク 地域フォーラム 2024

# 子どもたちと地域のかかわりから始まる、 もっとおもしろい ESD の学び

2021年5月に「第2期 ESD 国内実施計画」が策定され、ESD を実践する様々な主体がつながって重層的なネットワークを構築し、地域レベルでの活動を強化することが求められています。持続可能な社会の創り手の育成を実践するためには地域に開かれた学校であることが重要ですが、地域との連携は好事例が多い一方で実際には属人的な面も大きく、試行錯誤の連続でもあります。このフォーラムは、事例紹介や参加者ネットワーキングをきっかけに ESD に関わる方や関わりたい方がつながる場です。子どもたちをはじめとし指導者や関係者もたくさんの気づきを得つつ楽しみながら実践できる事例を学び、学校と地域の連携や地域の様々な資源を活かした ESD 実践について一緒に考えませんか。関心を持っていただいた、すべてのみなさまのご参加をお待ちしております。

**日時** 2025年1月26日 日 10:00～15:30 (開場 9:30)

**会場** OMMビル2階 201・202会議室

(大阪市中央区大手前1丁目7-31)

京阪電車「天満橋」駅東口、

Osaka Metro 谷町線「天満橋」駅北改札口から OMM 地下2階に連絡

※事例紹介のみオンライン配信あり



**定員** 70名 (申し込み先着順)

※オンライン参加に定員はありません

**参加費** 無料

**対象**

- ・ ESD の実践に関心のある、あるいは実践している学校教員の方々、教育委員会事務局の方々
- ・ ESD の実践に関心のある自治体 (主に環境部局の方々) のの方々、社会教育関係者の方々、NPO/NGO のの方々、企業等の団体の方々、個人

ESD 実践者による事例紹介

もっとおもしろくなる ESD の学び  
～持続可能な実践に向けた挑戦～

古谷俊之 校長 (堺市立新樟尾台小学校)

中谷栄作 教諭 (和歌山大学教育学部附属小学校)

子どもたちと地域の未来を作るといふこと  
～天理市福住地区のウェルビーイング～

堀川淳司 教諭 (天理市立福住小学校 ESD 教育担当)

犬塚良子 教諭 (天理市立福住中学校 ESD 教育担当)

伊川健一 氏 (一般社団法人みんなとふるさと 代表理事)



**主催**

近畿地方 ESD 活動支援センター、環境省近畿地方環境事務所

**後援**

滋賀県教育委員会、京都府教育委員会、大阪府教育委員会、  
兵庫県教育委員会、奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会

# プログラム (※プログラムは変更になる場合がございます)

10:00 開会

10:10 2024年度の学びあいプロジェクトについての共有

今年度は全5回の開催で、「教育委員会や学校教員と自治体環境部局の連携」をテーマに、地域の魅力を発見する教育実践や、他自治体の取組から学ぶ担い手づくり等の事例紹介や意見交換を行い次年度に向けた活動計画づくりを行いました。

10:30

ESD実践者による事例紹介及びパネルディスカッション①

もっとおもしろくなるESDの学び

～持続可能な実践に向けた挑戦～

小学校における防災や環境をテーマとしたESD実践事例を入口に、地域を巻き込んで取り組んだ事例の紹介を行います。事例紹介をきっかけに、キーパーソンとなる教員が異動した後も良い取組を残していく方法をはじめ、地域とのつながり方のノウハウやヒントについて、パワフルな先生方にこれまでの試行錯誤を伺いながら、「持続可能な実践」について考えます。

事例紹介者

- ・古谷俊之校長(堺市立新樟尾台小学校)
- ・中谷栄作教諭(和歌山大学教育学部附属小学校)

モデレーター

- ・河野晋也准教授(大分大学大学院教育学研究科)



12:00 昼休憩

13:00 令和6年度環境教育・ESD実践動画100選認定書授与式

13:15

ESD実践者による事例紹介及びパネルディスカッション②

子どもたちと地域の未来を作るといふこと

～天理市福住地区のウェルビーイング～

人口1300人ほどの奈良県天理市福住地区にある天理市立福住小学校および中学校では、地域で子どもを中心としたネットワークを構築しながら学校からほど近い場所にある耕作放棄された茶園や、生物部の生徒が近隣で発見した絶滅危惧Ⅱ類に指定されている「ヤマトサンショウウオ」を題材に総合学習の授業等を行っています。地域・子ども・教員にとってウェルビーイングなESDの実践事例や、実践を取り巻く地域のネットワークについて、同校のESD担当の先生、地域のキーパーソンの伊川氏にご登壇いただき詳細をご紹介いただきます。また、登壇者同士の対談を通してウェルビーイングなESDの実践の秘訣に迫ります。

※ウェルビーイング：幸福で肉体的、精神的、社会的すべてにおいて満たされた状態のこと。

ウェルビーイングなESD実践事例：地域・子ども・教員のそれぞれが意義、楽しさ、やりがい等を感じながら取り組むESD実践のこと。

事例紹介者

- ・堀川淳司教諭(天理市立福住小学校ESD教育担当)
- ・犬塚良子教諭(天理市立福住中学校ESD教育担当)
- ・伊川健一氏(一般社団法人みんなとふるさと代表理事)

モデレーター

- ・中澤静男教授(奈良教育大学)



14:15 参加者ネットワーキング

お持ちの方はぜひ名刺をご持参いただき、積極的に名刺交換をお願いします

15:30 閉会

申込

下記URL、右記申込フォームまたは、  
問合せメールアドレスより  
お名前、ご所属を明記の上  
地域フォーラム参加の旨をご連絡ください。  
(申込締切：1/23(木))  
<https://forms.gle/w4NDTUPVMpbcp9iu9>



問合せ

近畿地方ESD活動支援センター  
(担当：小路)  
E-mail: [office@kinki-esdcenter.jp](mailto:office@kinki-esdcenter.jp)  
TEL: 06-6948-5866

6 Webサイト等を活用した情報の受発信【本編章番号 3-(3)①】  
 近畿ESDセンターに係るパンフレット等発信情報の作成・配布【本編章番号4-(5)】  
 (最新パンフレット)



環境省  
きんき環境館  
近畿環境パートナーシップオフィス

TEL  
06-6940-2001

FAX  
06-6940-2022

メール  
office@kankyokan.jp

WEB  
https://www.kankyokan.jp





近畿地方  
ESD活動支援センター  
Education for Sustainable Development

TEL  
06-6948-5866

FAX  
06-6940-2022

メール  
office@kinki-esdcenter.jp

WEB  
https://kinki.esdcenter.jp





**アクセス**

〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 OMM5F  
 (郵便の場合: OMMの郵便用私書箱111号)

京阪電鉄「天満橋駅」又は  
 Osaka Metro谷町線「天満橋駅」1番出口



**営業日**

月曜日～金曜日 10:00～18:00

※休業日: 土・日・祝・年末年始 (臨時休業する場合がありますのでご来館時はお電話あるいはWEBサイトにてご確認ください)

**メールマガジンの配信登録及び掲載依頼**

きんき環境館が毎月2回発行するメールでのお知らせです。掲載依頼も受け付けております。

◀配信登録及び掲載依頼▶ <https://www.kankyokan.jp/magazine/>



発行 2025.3  
 特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター (NPO法人エコネット近畿)

きんき環境館及び近畿ESDセンターは、環境省近畿地方環境事務所とNPO法人エコネット近畿が協働で運営しています。




環境省  
きんき環境館  
近畿環境パートナーシップオフィス

近畿地方ESD活動支援センター  
Education for Sustainable Development



環境省  
きんき環境館  
近畿環境パートナーシップオフィス

近畿環境パートナーシップオフィス  
(呼称: きんき環境館)

環境館は、環境教育等促進法に基づき、持続可能な地域づくりを推進するために中間支援機能を持つ環境パートナーシップオフィス (Environmental Partnership Office: EPO) を全国各地に設置、運営しています。

きんき環境館は、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県を対象とする中間支援拠点として、地域の環境保全や環境課題解決に向けた情報発信や、パートナーシップ構築のための場づくり等の支援を行っています。



近畿地方ESD活動支援センター  
Education for Sustainable Development

近畿地方ESD活動支援センター  
(呼称: 近畿ESDセンター)

環境省及び文部科学省は、持続可能な社会の実現に向けたESD推進ネットワーク構築のため、全国的なハブ機能を果たすESD活動支援センターと、各地方でESD活動を支援する地方ESD活動支援センターを設置しています。

近畿ESDセンターは、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県を対象とするESD活動推進拠点として、ESD活動に関する情報の共有や現場のニーズに基づいた支援、ネットワークの構築、人材育成を行っています。

ESDは、Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育) の略称です。世間の人々や、地球上の生物も、そしてこれから未来を築くこととなった、持続可能な社会の願いを継承し、学びのことです。

**1 環境パートナーシップの構築を支援します!**

多様な意見交換の場づくり  
 環境分野を始めさまざまな分野の人が集まり、多様な意見を交換する場や、共通の悩みを持つ仲間同士の情報交換の場を企画・開催します。また、地域における環境保全活動の最新事例や、環境に関する最新の動向を学ぶ機会を提供します。

情報発信・相談対応  
 環境保全や環境課題に関する行政機関や企業、市民団体等からの相談や問合せを受け付け、具体事例や有識者、団体の紹介等を行います。また、ホームページやメールマガジン等を通して、環境に関する取組や施策、助成金等の情報をお届けします。

**2 多様な環境課題等の解決に向けてサポートします!**

情報発信・相談対応  
 環境保全や環境課題に関する行政機関や企業、市民団体等からの相談や問合せを受け付け、具体事例や有識者、団体の紹介等を行います。また、ホームページやメールマガジン等を通して、環境に関する取組や施策、助成金等の情報をお届けします。

**3 ESDの実践者や具体事例を紹介します!**

情報発信・相談対応  
 ESDの実践者や近畿で活動する人・団体の紹介等を通して、ESDに関する相談や問合せにお応えします。また、ESDを実践するに当たり役立つ教材情報や全国の実例等は、ホームページでご案内します。

**4 地域におけるESD活動の促進をサポートします!**

多様な意見交換の場づくり  
 地域におけるESDの取組を推進するために、学校を始め地域のさまざまなセクターがつながり、意見交換を行う場を企画・開催します。また、今後の実践に役立つ最新の事例を学ぶ機会を提供します。

**地域循環共生圏の実現へ**

地域循環共生圏は、地域資源を活用して環境・経済・社会を良くしていく事業 (ローカルSDGs事業) を生み出し続けることで地域課題を解決し続け、自立した地域をつくることにも、地域の個性を活かして地域同士が支え合うネットワークを形成する「自立・分散型社会」を示す考え方で、

きんき環境館、近畿ESDセンターでは、地域循環共生圏の実現を目指し、地域内外の異なる分野・業種の人たちが協働するための支援をしています。

<https://chikijukan.env.go.jp>

**全国のEPOやGEOCとの連携**

きんき環境館は、各ブロックを超えた機関間等を推進する地域環境パートナーシッププラザ (GEOC) や各地方EPOとともに全国ネットワークを形成し、情報交換やノウハウの共有を行っています。



**全国センターや地域ESD活動推進拠点等との連携**

近畿ESDセンターは、全国的なハブ機能の役割を担うESD活動支援センター (全国センター) や各地方ESD活動支援センター (地域センター) と情報交換やノウハウの共有を行っています。さらに、地域のESD活動を支援・推進する地域ESD活動推進拠点と連携し、ESD推進ネットワークの広域的なハブ機能を果たしています。

